

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

# ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ



## COVER STORY

対談 20周年にむけて

飯島社長 × 檜山副社長

## 特集 20周年にむけて

- アクモスの事業のご紹介 ITソリューション事業の強み
- アクモスの軌跡

## アクモスジャンクション

- 株式会社エクスカル
- 人を育てる 社内研究発表会

2010  
SPRING  
06

# ビジネスプロセスの最適化を実現

多様化するビジネス環境に対応するワンストップアウトソーシング。  
業務ノウハウと万全のセキュリティ体制で、お客様ごとのビジネス課題  
を解決し、新しい価値を創造します。

## 入力 Input



Webアンケート



データ入力



マークシート



検索型リサーチ

## 処理 Processing



アンケート集計



試験採点

## 出力 Output



オンデマンド印刷  
・封入



FAX送受信

## 事務局 Secretariat



事務局



コールセンター



発送代行



システム構築

## Contents

02

coverstory



20周年にむけて

飯島社長 × 檜山副社長

05

事業概況

- 連結業績ハイライト
- セグメント情報
- 単体財務データ

09

特集 20周年にむけて

- アクモスの事業のご紹介  
ITソリューション事業の強み
- アクモスの軌跡

11

アクモスジャンクション

- 株式会社エクスカル
- 人を育てる 社内研究発表会

13

株主様アンケート

14

株式の状況/役員の状況



G's STAFF

株式会社ジイズスタッフ

<http://www.gstf.jp/>

〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-4-15三井生命ビル3F

TEL.03-5287-2801 FAX.03-5287-1471



今回の株主アンケートは株式会社ジイズスタッフのWebアンケートシステムを利用しています。

アクモスグループ (2009年12月31日現在)

商号：アクモス株式会社

設立：平成3年8月23日

資本金：6億9,325万円

社員数：連結313名(単体221名)

URL：<http://www.acmos.co.jp/>

### ■主な事業

- ・ITソリューション
- ・情報処理
- ・検証・評価・認証
- ・コンテンツ
- ・人材派遣(物流・施工)



対談



# 20周年にむけて 飯島社長 × 檜山副社長

第19期第2四半期連結累計期間の業績と通期の見通しとともに、  
来年のアクモスの創立20周年に向けて、飯島社長と檜山副社長が語ります。

## 第19期の業績について

**檜山副社長:**2008年の金融危機をきっかけとして、お客様のIT投資に対する投資判断も慎重になってきており、外部委託せず内製化する傾向が続いています。人材事業でも、物流系のお客様からの受注が大きく落ち込んでいます。

**飯島社長:**第19期の第2四半期累計期間(以下、「上半期」)の連結業績は大変厳しい結果となりましたね。前期の上半期と比較すると、売上は30%も減少していることに顕著に現れています。

**檜山副社長:**対策として営業努力や経費削減などに努めています。情報技術事業の営業に関しては少しずつ成果が現れてきていて、受注案件数の増加に結びついてきています。

**飯島社長:**そうですね、それに当期の目標である「減収でも収益の上がる体制」づくりの下、アクモス単体の経費についても前年同期比で約70%に抑え、極力削減をすすめてきました。しかし、残念ながらいまだ損失を補えていません。

**檜山副社長:**下半期についてはどうお考えですか。



代表取締役  
社長  
飯島 秀幸



代表取締役  
副社長  
檜山 秀夫

**飯島社長:**特にグループ子会社の業績が厳しいため、連結業績の圧迫要因となっています。やはり、グループ各社の整理統合や支援等の思い切った決断が必要となってくると思います。

外部環境は依然厳しく、下半期単独では黒字化を目指していますが、率直に申し上げて上半期の赤字をカバーするのは難しい状況だと判断しています。檜山さんはいかがですか。

**檜山副社長:**下半期も、引き続き営業力の強化を目指していますが、お客様のニーズを的確に捉え成約率を上げること、そして、リピートのお客様を増やすことが業績向上に繋がっていきますので、お客様の視点に立って進めていきたいと考えています。

## ■ いままでのアクモスを振りかえって

**檜山副社長:**アクモスは半導体事業から始まったのですよね。

**飯島社長:**そうです。半導体事業からスタートした当社は、ITと人材に関わる事業に絞ってM&Aを駆使した成長戦略を描き実践してきました。しかし、2000年のITバブルの崩壊と2008年のリーマンショックという激しい外部環境の変化にきちんと対応できたのかと問われると、反省点も多いですね。

**檜山副社長:**その要因は何だったとお考えですか。

**飯島社長:**グループ各社が有機的に結びついていなかったことが、グループとしての危機対応が出来なかった原因だと考えています。「お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供する」ことを経営理念に掲げているので、その理念に従ってグループのラインナップを再構築する必要があると考えています。

**檜山副社長:**アクモスは2年前に旧茨城ソフトウェア開発株式会社との合併によって「純粋持株会社」から「事業持株会社」へ大きく舵を切りましたね。それに伴い、企業理念を再構築し、「PSP:プロフェッショナル・サービス・プロバイダー」を宣言しました。

私はコア事業を磨いて、お客様の期待値を大きく超えることがPSPの原点だと考えていますが、当社そしてグループ各社の社員への浸透はまだ十分ではないかもしれません。社員一人一人の自覚と自立が今後の重要な課題になっています。

## ■ 20周年を迎えたアクモスが目指すところ

**檜山副社長:**環境の変化がめまぐるしく、過去の成功体験は今後の成功体験にはなりません。

現状に甘んずることなく真摯に受け止め、『アクモスブランドの創出』をテーマとした成長への取り組みが必要ですね。

**飯島社長:**アクモスグループの目的は「お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供」することです。その目的に沿って活動するのがわが社の社会的な存在意義だと考えています。このプロフェッショナルサービスを提供することが『アクモスブランドの創出』へと繋がっていくと思うのですが、その徹底のためにも、グループとして最も強い分野に集中することが重要になってくるでしょう。

**檜山副社長:**『アクモスブランドの創出』を早期に実現するためにはM&Aや合従連衡を進めていくことも必要になってくるでしょうね。

**飯島社長:**集中した分野を強化するため、当社にないリソースは、業務提携によって補填していきます。





そしてお客様から安心して任せて戴ける会社作りが大事になってきます。経営戦略と人材が、グループ成長の鍵となるでしょう。当社の社員は、まじめで素直です。人間関係も良好です。この強みを生かして切磋琢磨し、逆境にも強い人材作りをして明日のアクモスの土台としたいと考えています。

## 株主の皆様へ

**飯島社長:**株主様には、日頃ご支援・ご鞭撻を賜っており、感謝いたしておりますが、株主様のご期待に添えられず申し訳ございません。

まず、業績面ですが、前年同期と同じくらいの営業損失となり、未だ水面下の状態です。M&Aによってグループに入ってもらった会社も苦戦が続いています。この状態を打開するために、まず情報技術事業に資源を集中し、グループ会社を再構築します。

次に、情報技術事業をアライアンスと営業力強化で強い事業とします。

これらの施策で、一日も早く黒字化し、継続的に配当のできる会社にして株主様の期待にお応えしたいと考えております。

**檜山副社長:**株主様への還元は企業価値を向上させ、かつ安定的な配当を継続することが基本です。この実現に向けて邁進してまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。（対談日:平成22年2月10日）

対談  
20周年にむけて  
飯島社長 × 檜山副社長

## 連結業績ハイライト

第19期第2四半期連結累計期間(平成21年7月1日から平成21年12月31日まで)の連結業績についてご報告申し上げます。

### トピックス

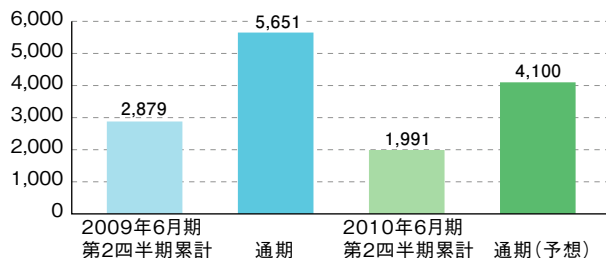
- 情報技術事業、人材事業のいずれも厳しい事業環境のもと、売上高は1,991百万円と、前年同期比30.8%減となりました。
- 人材事業のアクシスコンサルティング株式会社(人材紹介事業)を、同社経営陣へ売却しました。

### 連結業績推移(要約)

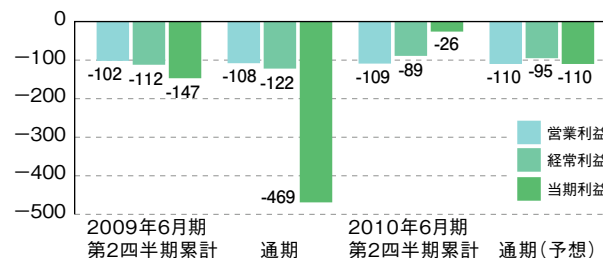
(単位:百万円)

	17期		18期		19期(当期)	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高	3,797	7,376	2,879	5,651	1,991	4,100
営業利益	27	159	△102	△108	△109	△110
経常利益	25	142	△112	△122	△89	△95
当期純利益	△57	△117	△147	△469	△26	△110

#### 売上高推移



#### 営業利益・経常利益・当期利益の推移



### セグメント情報

(単位:千円)

	情報技術			人材		
	18期 第2四半期	19期 第2四半期	増減	18期 第2四半期	19期 第2四半期	増減
売上高	1,499,187	1,245,643	△253,543	1,414,081	746,691	△667,390
外部	1,499,187	1,245,643	△253,543	1,376,358	741,709	△634,649
内部	0	0	0	37,722	4,981	△32,740
営業利益	△8,675	△75,549	△66,873	△21,665	△30,627	△6,397

※18期第2四半期の数値は当期の変更後のセグメント区分に組み替えて表示しています。

## ■四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:千円)

科目	19期 当第2四半期末 平成21年12月31日現在	18期 前期末 平成21年6月30日現在	増減
資産の部			
流動資産合計	1,950,508	2,568,573	△618,065
固定資産合計	815,721	897,318	△81,597
有形固定資産	267,962	293,572	△25,610
無形固定資産	385,688	438,611	△52,922
投資その他の資産	162,070	165,134	△3,064
資産合計	2,766,229	3,465,892	△699,662

(単位:千円)

科目	19期 当第2四半期末 平成21年12月31日現在	18期 前期末 平成21年6月30日現在	増減
負債の部			
流動負債合計	691,875	1,224,303	△532,427
固定負債合計	530,464	644,050	△113,586
負債合計	1,222,339	1,868,353	△646,013
純資産の部			
資本金	693,250	693,250	—
資本剰余金	1,176,282	1,252,050	△75,768
利益剰余金	△406,305	△453,075	46,769
自己株式	△53,911	△53,911	—
株主資本合計	1,409,315	1,438,313	△28,998
評価差額	△881	△727	△154
少数株主持分	135,456	159,952	△24,496
純資産合計	1,543,889	1,597,538	△53,648
負債・純資産合計	2,766,229	3,465,892	△699,662

### ポイント解説 <資産の部>

<流動資産> ●子会社(アクシスコンサルティング)の連結除外により同社の「現金及び預金」90百万円が減少したほか、同社以外の各社が借入金435百万円を返済したことなどにより「現金及び預金」が前期末より487百万円減少しました。  
<固定資産> ●「のれん」は10年均等償却により、前期末より31百万円減少しています。  
●アクシスコンサルティングの連結除外により、同社の有形・無形固定資産39百万円が減少したほか、「のれん」を除く有形及び無形固定資産が47百万円減少しています。

### ポイント解説 <負債、純資産の部>

<負債> ●アクシスコンサルティングの連結除外のほか、他の各社も借入金を435百万円返済し、有利子負債残高は前期末の1,320百万円から479百万円減少し、841百万円へ削減しました。 ●貴号等の支払いにより、未払費用が前期末より118百万円減少しました。  
<純資産> ●アクモスにおいて欠損填補のため資本準備金を129百万円取り崩し、その他資本剰余金へ振替えたうち、75百万円を利益剰余金へ振替えました。

## ■四半期連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

科目	19期 当第2四半期 平成21年7月1日～ 平成21年12月31日	18期 前第2四半期 平成20年7月1日～ 平成20年12月31日	増減
売上高	1,991,407	2,879,820	△888,413
売上原価	1,313,477	1,869,752	△556,274
売上総利益	677,929	1,010,068	△332,139
販売費及び一般管理費	786,979	1,112,721	△325,741
営業利益	△109,050	△102,652	△6,397
営業外収益	31,662	13,940	17,721
営業外費用	11,823	23,914	△12,091
経常利益	△89,210	△112,625	23,415
特別利益	66,357	1,674	64,683
特別損失	25,858	14,136	11,722
税引前四半期純利益	△48,711	△125,087	76,376
少数株主利益又は損失(△)	△17,921	1,825	19,747
法人税等	△4,410	20,710	25,121
四半期純損失(△)	△26,378	△147,624	121,245

### ポイント解説

<売上高> ●各社とも受注が回復せず、売上高は前年同期に比べ888百万円減少し、1,991百万円となりました。情報技術事業では、前年同期比253百万円の減少(△16.9%)、人材事業では前年同期比667百万円(△47.2%)の減少となりました。  
<販売費及び一般管理費> ●各社、期首から経費削減に取り組んだ結果、販売費及び一般管理費は325百万円減少し、786百万円へ削減しました。  
<特別利益> ●子会社(アクシスコンサルティング)の売却により特別利益を63百万円計上しました。

## ■四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

科目	19期 当第2四半期 平成21年7月1日～ 平成21年12月31日	18期 前第2四半期 平成20年7月1日～ 平成20年12月31日	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,284	△119,937	107,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,248	16,348	△117,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369,731	△213,835	△155,895
現金及び現金同等物の増減額	△483,264	※△376,538	△106,725
現金及び現金同等物の期首残高	1,500,686	1,364,667	136,019
現金及び現金同等物の四半期残高	1,017,422	988,128	29,293

※子会社の連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額59,114千円を含む

### ポイント解説 <キャッシュ・フロー>

●現金及び現金同等物が減少した主な理由は、有利子負債の返済によるものです。主に借入金の返済及び社債の償還440百万円により、財務活動によるキャッシュ・フローが369百万円減少しました。

# セグメント情報

## 情報技術事業のポイント

(単位:千円)

	第18期 第2四半期	第18期 通期	第19期 第2四半期
売上高	1,499,187	3,369,832	1,245,643
営業利益	△8,675	152,290	△75,549

### ■ITソリューション事業

売上高960百万円 営業損失37百万円  
システム開発規模の縮小等により、常駐技術者の稼働時間や、協力会社への委託要員が縮小しています。

### ■IT製品のテストング事業

売上高129百万円 営業損失4百万円  
新規開発製品の減少、海外テストラボとの価格競争等により規格認定試験の売上が減少しました。平成21年12月に近接無線伝送技術Transferjet (トランスファージェット)の認証試験機関(QTL)の1社に認定されました。

### ■情報処理サービス事業

売上高85百万円 営業損失1百万円  
受注案件の規模が小型化しているものの、新規顧客の開拓は進展しています。

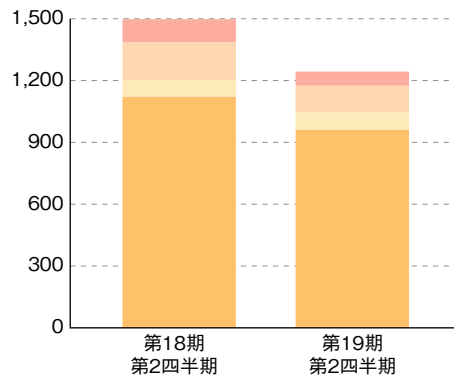
### ■モバイルインターネットコンテンツ開発事業

売上高69百万円 営業損失31百万円  
月額ポイント制料金体系でのサービスの提供を開始しましたが、無料モデルのコンテンツサービスが拡大による影響を受けています。

## 売上高推移

(単位:百万円)

ITソリューション事業 情報処理サービス事業  
IT製品のテストング事業 モバイルインターネットコンテンツ開発事業



## 人材事業のポイント

(単位:千円)

	第18期 第2四半期	第18期 通期	第19期 第2四半期
売上高	1,414,081	2,324,150	746,691
営業利益	△21,665	△105,344	△30,627

### ■人材派遣・アウトソーシング事業

売上高700百万円 営業損失5百万円  
雇用の過剰感による事業環境の悪化に加え、労働者派遣法の改正が議論されており、人材派遣事業を取り巻く環境が大きく変化してきております。

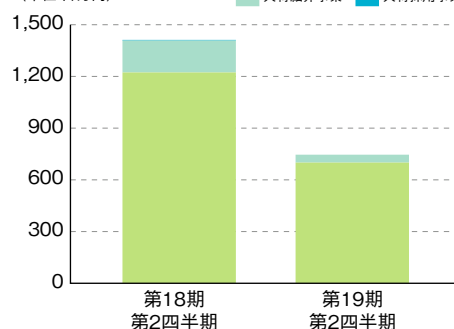
### ■人材紹介事業

売上高46百万円 営業損失25百万円  
平成21年9月に人材紹介事業のアクシスコンサルティング(株)を同社の経営陣へ売却し、連結子会社から除外しました。(平成21年7月から平成21年9月までの業績が含まれています)

## 売上高推移

(単位:百万円)

人材派遣・アウトソーシング事業  
人材紹介事業 人材採用事業



※18期のセグメント及び事業の数値は、当期における変更後のセグメント及び事業に合わせて組み替えています。  
※人材採用事業は、第18期第1四半期で事業から撤退しています。  
※人材紹介事業(アクシスコンサルティング)は、第1四半期で連結から除外しているため19期は3ヶ月の実績です。



# 単体財務データ

## ■四半期貸借対照表(要約)

(単位:千円)

科目	19期 当第2四半期末 平成21年12月31日現在	18期 前期末 平成21年6月30日現在	増減
資産の部			
流動資産合計	1,104,042	1,302,600	△198,558
固定資産合計	815,659	854,556	△38,896
有形固定資産	194,141	198,279	△4,137
無形固定資産	4,270	5,175	△905
投資その他の資産	617,247	651,101	△33,854
資産合計	1,919,701	2,157,156	△237,454

### ポイント解説 <資産の部>

<流動資産> ●借入金226百万円の返済等により、「現金及び預金」が250百万円減少しました。  
 <固定資産> ●子会社(アクシスコンサルティング)を同社経営陣に売却し、「子会社株式」が45百万円減少しました。 ●アクシスコンサルティングの経営陣に対し、買収資金の一部貸付を行い、長期貸付金が33百万円増加しました。

## ■四半期損益計算書(要約)

(単位:千円)

科目	19期 当第2四半期 平成21年7月1日～ 平成21年12月31日	18期 前第2四半期 平成20年7月1日～ 平成20年12月31日	増減
売上高	986,802	1,160,725	△173,922
売上原価	646,491	750,659	△104,168
売上総利益	340,311	410,065	△69,754
販売費及び一般管理費	352,339	454,151	△101,812
営業損失(△)	△12,028	△44,086	32,057
営業外収益	22,856	26,202	△3,346
営業外費用	5,235	4,211	1,023
経常損失(△)	5,592	△22,095	27,687
特別利益	75,909	713	75,196
特別損失	6,553	8,894	△2,341
税引前四半期純利益 又は損失(△)	74,949	△30,276	105,225
法人税等	△3,891	10,239	△14,131
四半期純利益又は損失(△)	78,840	△40,516	119,356

(単位:千円)

科目	19期 当第2四半期末 平成21年12月31日現在	18期 前期末 平成21年6月30日現在	増減
負債の部			
流動負債合計	341,184	619,395	△278,211
固定負債合計	275,650	313,580	△37,930
負債合計	616,834	932,975	△316,141
純資産の部			
資本金	693,250	693,250	—
資本剰余金	585,570	661,338	△75,768
利益剰余金	78,840	△75,768	154,608
自己株式	△53,911	△53,911	—
株主資本合計	1,303,749	1,224,908	78,840
評価差額	△881	△727	△154
純資産合計	1,302,867	1,224,181	78,686
負債・純資産合計	1,919,701	2,157,156	△237,454

### ポイント解説 <負債、純資産の部>

<負債> ●借入金を226百万円返済し、有利子負債残高は580百万円から354百万円へ226百万円減少しました。 ●賞与等の支払いにより、未払費用が99百万円減少しました。  
 <純資産> ●欠損填補のため資本準備金を129百万円取り崩し、その他資本剰余金へ振替えたうち、75百万円を利益剰余金へ振替えました。

### ポイント解説

<売上高> ●売上高は受注が回復せず、前年同期に比べ173百万円減少し、986百万円となりました。  
 <販売費及び一般管理費> ●期首からの経費削減への取り組みにより、販売費及び一般管理費は101百万円減少し、352百万円へ削減しました。  
 <特別利益> ●子会社(アクシスコンサルティング)の売却により特別利益を75百万円計上しました。

## アクモスの事業のご紹介

## ITソリューション事業の強み

3つのサービス領域で  
お客様をトータルサポート

### ● アクモスのワンストップサービス

アクモスは、IT基盤設計・構築、SI・ソフトウェア開発、システム運用・保守の3つサービス領域で、コンサルティングから、システム開発、運用・保守までの各フェーズでソリューションを提供し、お客様の様々なニーズにトータルに対応可能なサポート体制を整えています。

基本構想立案・  
コンサルティング

案件定義

基本設定

### 1 IT基盤設計・構築

システム構築の成功には、上流工程におけるきめ細かなサポートが不可欠です。アクモスの専門知識を持った経験豊かなシニア・ミドルクラスのエンジニアが、お客様の課題を解決する最適なシステム構築のため、基本構想の立案から基本設計まで上流工程をサポートいたします。

#### 主なサービス内容

- システム基盤コンサルティング  
システム化要件検討・可用性／拡張性／性能／運用管理／セキュリティ検討など
- システム基盤設計  
ハードウェア、ソフトウェア選定・サーバー・ミドルウェア設計・ネットワーク設計・システムに関する評価及びフェージビリティスタディなど

## アクモスの軌跡

	1976年	1991年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年
アクモス株式会社		8月 設立	2月 商号をアクモス㈱に変更。 半導体事業を開始		12月 株式公開 (日本証券業協会 店頭特則)			5月 経営戦略として 連邦経営 (株式交換等による ベンチャー企業の グループ化と当社の 持株会社化)の 方針を決定	4月 既存事業を 子会社化。 純粋持株会社 となる 5月 千代田区神田 神保町に移転 (現、本社所在地)
旧茨城 ソフトウェア 開発株式会社 (ISD)	10月 設立 						11月 茨城県東海村に 移転 (現、茨城本社 所在地) 新社屋建設 		

## SI・開発

## 運用・保守

### 2 SI・ソフトウェア開発

アクモスは、より良い人の暮らしと社会に貢献するシステムインテグレーションを実現するため、品質システムを構築し、継続的な品質向上のため「PDCAサイクル」の実践に努めております。アクモスは、ITソリューションのプロフェッショナルサービスプロバイダーとして、お客様に信頼され感動していただけるソリューションをスピーディに提供いたします。

#### 主な開発実績

- 金融情報システム
  - 宇宙関連システム
  - 運輸事業者運行管理システム
  - GISシステム
  - ダム管理システム
  - 化学プラント向けミドルソフトウェア開発
  - 上下水管理システム
  - 通信指令システム (運輸事業者、警備ほか)
  - 発電制御システム
  - 機械メーカー基幹会計システム
  - 生産管理システム
  - カーロケーションシステム
- など

### 3 システム運用・保守


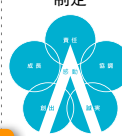

アクモスは、ITによるECO(グリーンIT)の実現のため、技術力とマルチベンダー対応力により、コストパフォーマンスに優れたサーバ、ネットワーク機器、システムを選定し、最適なネットワークシステムを構築します。またアクモスは、運用・保守まで一貫したサービスの提供により、安心という付加価値をお客様にお届けいたします。

#### 安心の運用・保守体制

常駐SEによるオンサイト運用によりお客様の業務遂行をワンストップで強かにバックアップ

- お客様からのお問合せに迅速に対応
- お客様の環境変化への柔軟な対応
- 社内バックオフィスによる組織的バックアップ
- セキュリティ対策など豊富な技術力をご提供
- システムトラブル時の迅速な復旧

アクモス株式会社は、平成3年8月に設立されました。支えて下さる株主の皆様そしてお取引先様各位のおかげを持ちまして、私たちは来年で創立20周年を迎えます。これまでの私たちの軌跡を振り返るとともに、また新たな気持ちで創立20周年そしてさらに先に向かって進んでまいります。

2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
		6月 半導体事業より撤退	4月 アクモスαプラン(1:5の株式分割と株主割当新株予約権の無償発行)を発表	9月 ISDを完全子会社化			1月 ISDを合併、純粋持株会社から事業持株会社へ移行 5月 技術者特定派遣サービスを開始	3月 グループの新しいシンボルマークを制定	7月 技術者特定派遣事業と東京開発センターを統合し、ITアーキテクト事業部を新設
		7月 ISO9001、2000取得	3月 プライバシーマーク認証取得 5月 つくば事業所開設	9月 アクモスの完全子会社となる	2月 ISMS(注)認証取得 5月 いわき事業所開設	2月 ISMSをJISQ27001:2006に移行	2008年1月1日 アクモス(株)が旧ISDを吸収合併		

(注) ISMS:情報セキュリティマネジメントシステム

## 株式会社エクスカル

### 新技術TransferJet™製品のロゴ認証試験機関として正式承認へ

#### TransferJet™のロゴ認証試験機関として承認される

業界標準規格等への適合性を認定する世界でも有数の認定機関の一つである株式会社エクスカルは、USB、DLNA、ZigBeeなど数多くの第三者認定機関としての実績が認められ、2009年12月に新技術TransferJet™を使った製品のロゴ認証試験機関Quality Test Lab (QTL)として正式に承認されました。

※「TransferJet」及び「TransferJet」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

#### TransferJet™について

コンソーシアムが標準化を行なっているTransferJet™通信技術は、デジタルカメラや携帯電話、ノートPCなどのモバイル機器の間で大容量の動画、静止画、音楽データなどやり取りする超近距離無線通信技術です。4.5GHz帯の微弱な電波を使用し通信距離が数cm以内のため、国内では免許が不要であり、かつ、他の無線通信のようなセキュリティ設定も不要です。

TransferJet™のデータ通信は、機器に「かざす」、「置く」という簡単な操作で大容量のデータを高速、安全かつ快適にやり取りすることができます。



エクスカル玄関前で

#### コンソーシアムについて

2008年7月に発足したTransferJet™コンソーシアムは、TransferJet™通信技術を標準規格化するためにソニー株式会社、株式会社東芝など19社のプロモーター会員企業が設立した団体で、他に24社がアダプター会員として参加しています。(2010年2月2日現在)

<http://www.transferjet.org/index.html>

#### エクスカルについて

エクスカルは規格認定だけではなく、携帯電話やカーナビなどに代表される膨大な組込ソフトウェアの品質を検証するための第三者検証や今後、高齢化社会に向かって益々使い勝手の優劣が問われるユーザビリティの評価などの幅広い技術と経験を持っており、米国親会社であるNTS®を初め数多くのパートナーとも連携を取って、皆様方のより一層の品質改善のお役に立てるよう努力してまいります。

※株式会社エクスカルは、アクモス株式会社と米国NTS社 (NASDAQ:NTSC)との合弁企業です。



TransferJet™ Labの前で

■代表取締役社長 朱雀二朗 ■本社:横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地 横浜ビジネスパークイーストタワー14階 ■URL:<http://www.xxcal.co.jp/>  
■お問合せ:営業統括部 大谷 / 田村 / 小島 電話 / 045-332-7333(代) お問合せ用メールアドレス / [kksales@xxcal.co.jp](mailto:kksales@xxcal.co.jp)

# 人を育てる

## 社内研究発表会

アクモス株式会社では、各部署から選抜された発表者が社員の前で研究発表を行う「社内研究発表会」を毎年開催しています。研究発表者たちは、多忙な業務の中、グループ員の協力を得ながら一つの研究発表をまとめる過程を通して、いろいろなことを学んでいきます。

### アクモス研究発表会を開催

社内研究発表会はチームのリーダーとして要求される能力としての自己表現力及びプレゼンテーション力の向上を図る目的で実施され、2009年秋で26回を迎えた伝統の一大イベントです。発表者はテーマを選定し論文提出後発表を行います。発表準備の段階から所属部門が一体となって発表者を支援し、時には徹夜をしてまで完成度を上げます。発表も社外の会場を借り、休日にもかかわらず80名以上の社員が集まる中、発表15分、質疑応答10分で行われます。発表は個人ですが、このイベントを通してグループ員の協力や援助を得て一つの事をまとめあげる事への感謝や、大勢の前で発表するという経験を積むことで、自信と達成感を実感できる機会となっています。



研究発表会事務局  
加藤 孝博

### 参加者体験談

今回の研究発表を通じて、何もない状態から題材や話し構成を決定し、ひとつのものをつくり上げるといふことの大変さ・難しさを、改めて感じさせられました。そして、普段なかなか経験しないような多くの人前でプレゼンテーションを行えたことは、自分が思っていること・考えていることを、いかに上手く聞き手に伝えることができるかを考え、実践する貴重な機会となりました。今後は、題材としました組織コミュニケーションの知識や研究発表会で得た経験を、日々の業務で活かしていきたいと思います。



研究発表者より  
制御システム部  
森山 由香里



## 2010年春アクモス株式会社株主様アンケート

昨年まではがきによるアンケートをお願いしておりましたが、今回はWEBによるアンケートに変更しております。下記、URLアドレスへアクセスして頂き、アンケートへご協力くださいますようお願いいたします。なお、アンケートにご協力頂き、お名前、ご住所等を入力して頂きました方の中から200名様に、抽選にてプレゼントをお送りいたします。お送りする商品は特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンの商品を予定しております。

アンケートページ  
アクセスURL

<http://www.acmos.co.jp/q.html>

アンケートページ  
ログインID

8桁の株主番号(宛名台紙の下部をご確認ください)

アンケートページ  
ログインパスワード

6888

### Webサイトからのアンケート回答方法

1

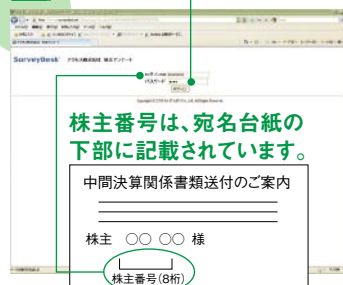
<http://www.acmos.co.jp/q.html>



アクセスURLに進みますと、左のような転送ページが表示されます。転送されるまで10秒ほどお待ちください。もし、画面に変化がない場合は、画面内に表示されるURLをクリックしてください。

2

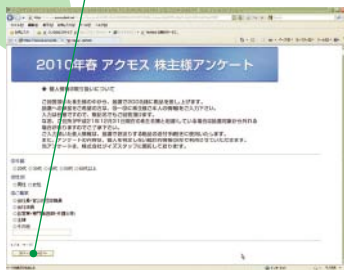
パスワードは「6888」



転送されると、左のようなログイン画面が表示されます。ログインIDは皆様の株主番号となっています。株主番号は宛名台紙の下部に記載されている8桁の数字です。パスワードは「6888」です。入力が終わりましたら、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

3

ここをクリックして次のページに進みます。



ログインいたしますと、左のような画面が表示されます。画面内の回答チェックボックスにチェックし、画面下の「次ページ[Next]>>」ボタンをクリックしてください。1～3ページの各設問は全て解答必須となっています。未回答がありますと次ページへ進めませんのでご注意ください。途中で前ページに戻ることはできません。

4

ここをクリックして終了です。



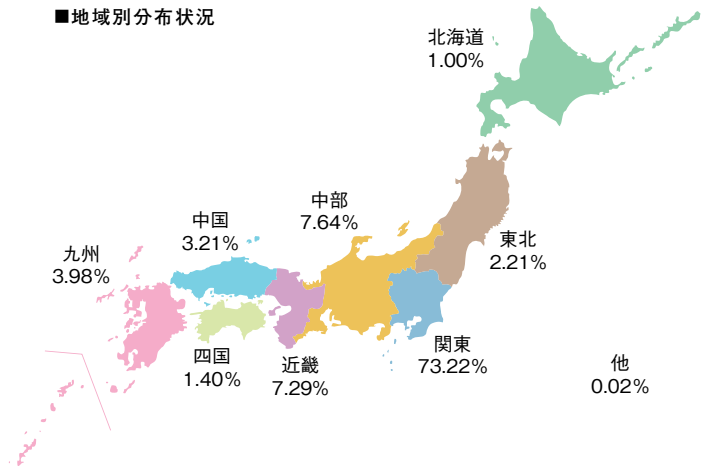
最終ページは全て任意入力項目となります。お名前、ご住所、ご連絡先電話番号は、お送りする粗品の抽選を希望されない方は入力不要です。最後まで入力頂きましたら、「送信[Submit]」ボタンをクリックしてください。以上でアンケートは終了となります。

## 株式の状況 (平成21年12月31日現在)

- 発行可能株式数 323,000株
- 発行済株式総数 102,154株
- 議決権を有する株主数 3,920名
- 上位10名の株主の状況

株主名	持株数
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	19,050株
飯島 秀幸	10,750株
宮本 治	5,235株
アクモス株式会社(自己株式)	5,159株
有限会社マルミ	2,972株
株式会社ベンチャー総研	2,000株
アクモスグループ社員持株会	1,488株
金子 登志雄	960株
村上 宜己	901株
檜山 秀夫	827株

## ■地域別分布状況



## 役員 の 状況 取締役・監査役・執行役員 (平成21年12月31日現在)

取 締 役	代表取締役社長	飯 島 秀 幸	執行役員	専務執行役員	佐藤 修 一
	代表取締役副社長	檜 山 秀 夫		常務執行役員	上野 隆
	取締役相談役	宮 本 治		常務執行役員	石川 稔
	取締役	金 子 登志雄		執行役員	桑 名 功
	取締役(社外)	柴 田 洋 一		執行役員	鈴木 伸 昌
	取締役(社外)	倉 井 康 則		執行役員	深 作 耕 一
監 査 役	監査役(常勤)	荻 原 啓 一	執行役員	清 川 明 宏	
	監査役(非常勤)	星 野 隆 宏	執行役員	中 川 智 章	
	監査役(非常勤)	平 野 喜 久 臣			

主な事業所	本 社	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地神保町錦明ビル	TEL:03-3239-2377
	茨 城 本 社	〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7	TEL:029-270-5555
	つ く ば 事 業 所	〒305-0045 茨城県つくば市梅園二丁目7番3号つくばシティビル6F	TEL:029-860-2021
	い わ き 事 業 所	〒970-8026 福島県いわき市平字菱川町4番9号菱川ビル4F	TEL:0246-21-6585
	ITアーキテクト事業部	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地神保町錦明ビル	TEL:03-3239-8139

## 株主メモ

### 事業年度

7月1日から翌年6月30日まで

### 定時株主総会

毎年9月下旬

### 公告方法

電子公告

[http://www.acmos.co.jp/ir/brief\\_note.html](http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html)

(電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)

### 株主名簿管理人(特別口座の口座管理機関)

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株式事務関係のお問い合わせ

### ■お問い合わせ先・郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部テレフォンセンター

電話0120-232-711(通話料無料)

受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

■株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。

■特別口座に記録された株式の各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行証券代行部テレフォンセンターにお問い合わせください。

[編集・発行] アクモス株式会社 経営情報管理部

[制作] ジャパン ストラテジック ファイナンス株式会社

## アンケートの回答方法が変わりました

今回のアンケートは、WEBアンケート方式で実施します。

下記のURLへアクセスし、アンケートへご協力ください。

<http://www.acmos.co.jp/q.html>

ログインIDは8桁の株主番号です。宛名台紙の下に記載されています。  
ログインパスワードは「6888」です。

アンケートへご協力頂いたご希望者の中から、抽選で200名様にプレゼントをお送りいたします。



本社  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町三丁目23番地  
神保町錦明ビル  
TEL:03-3239-2377 FAX:03-5275-2890



茨城本社  
〒319-1112  
茨城県那珂郡東海村村松2713番地7  
TEL:029-270-5555 FAX:029-270-5531

アクモスハイウェイは  
環境に配慮して  
制作しています。



グリーン電力  
で印刷して  
います。



環境に配慮した  
用紙、インクを  
採用しています。



ACMOS

アクモス 株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町三丁目23番地神保町錦明ビル  
TEL:03-3239-2377 FAX:03-5275-2890 <http://www.acmos.co.jp/>

JASDAQ

証券コード：6888